

N

F

C

NFC CALENDAR

大ホール(2階)

ロシア文化フェスティバル2006 IN JAPAN

ロシア・ソビエト映画祭

Russian and Soviet Film Festival

7月4日(火)ー7月30日(日)

主催：東京国立近代美術館フィルムセンター、ロシア・ソビエト映画祭実行委員会



ロシア文化フェスティバル2006 IN JAPAN

ロシア・ソビエト映画祭

Russian and Soviet Film Festival

Фестиваль российских и советских фильмов



7月の休館日：

月曜日

大ホール

開映後の入場はできません。

定員=310名(各回入替制)

発券=2階受付

料金=一般500円/高校・大学生・シニア300円/小・中学生100円

▶『戦争と平和』のみ一般1,000円/高校・大学生・シニア600円/
小・中学生200円

- 観覧券は当日・当該回にのみ有効です。
- 発券・開場は開映の30分前から行い、定員に達し次第締切となります。
- シニア(65歳以上)の方は、必ず年齢を証明できるものをご提示ください。
- 発券は各回1名につき1枚のみです。

東京国立近代美術館フィルムセンター

National Film Center
The National Museum of Modern Art, Tokyo

2006

7

NFCカレンダー
2006年7月号

大ホール 上映作品

ロシア文化フェスティバル2006 IN JAPAN
ロシア・ソビエト映画祭
Russian and Soviet Film Festival

100年近く前に作られた初の国産劇映画『ステンカ・ラージン』とともに産声を上げたロシア映画は、ある時は野心的に、またある時は否応なく政治の試練と向き合いつつも、映画の可能性を真摯に追究し、世界の映画に芸術的影響を与えてきました。

日ロ国交回復50周年を記念する本年、「ロシア文化フェスティバル2006 IN JAPAN」の一環として、フィルムセンターはロシア・ソビエト映画祭実行委員会と共催し、「ロシア・ソビエト映画祭」を開催することになりました。古くは『ステンカ・ラージン』から、最新作である『死という名の騎士』(2004年)と『宇宙を夢見て』(2005年)まで、両者の選定による、フィルムセンター所蔵作品も多数含まれた28本の作品を一挙に紹介します。上映作品としては、エイゼンシュテイン、ヴェルトフ、ブドフキンといった1920年代から1930年代のソビエト映画を代表する監督たちの名作はもちろんのこと、亡命ロシア人が多数出演した島津保次郎の『満州』映画『私の鷺』(1943年)、文豪トルストイの大河小説に基づいたボンダルチュクの『戦争と平和』(1965-67年)全4部も上映し、ロシア・ソビエト映画史の大きな潮流をたどるとともに、復活した“ロシア映画”としての新たな歩みにも着目してゆきます。

また、本映画祭を開催するにあたって、カレン・シャフナザーロフ監督やアレクセイ・ウチーチェリ監督を含むゲストがロシアより来日し、舞台挨拶等を行う予定です。どうぞご期待ください。

フィルムセンターでは、本企画は1978年の「ソ連映画の史的展望」以来、28年ぶりの大規模なロシア・ソビエト映画の特集上映となります。この映画祭を通して、皆様にロシア・ソビエト映画の魅力を改めて味わっていただければ幸いです。

- 監督 原作 脚本 撮影 美術 音楽 出演
- 本特集には不完全なプリントが含まれています。
- 記載した上映分数は、当日のものと多少異なることがあります。

◆ 新作ロシア映画

1 7/5(水)7:00pm 7/22(土)5:00pm

宇宙を夢見て (87分・35mm・カラー)

Космос как предчувствие

ソ連が人工衛星スプートニクの打ち上げに成功した1957年。“馬”というあだ名を持ち、恋人と港町のレストランで働く若者の自己探求を描くドキュメンタリー映画出身のウチーチェリ監督は、本作でモスクワ国際映画祭の最高賞を受賞した。

2005 監督 アレクセイ・ウチーチェリ 脚本 アレクサンドル・ミンダゼ 音楽 ユーリー・クリメンコ 出演 ゼリンスカヤ エヴゲニー・ミロノフ、エヴゲニー・ツィガノフ、イリーナ・ペゴワ、ドミトリー・ムリヤル、エレナ・リャドワ、セルゲイ・カチャーノフ、マリヤ・クズネツワ、エレナ・ガリバ、イーゴリ・シバノフ

2 7/4(火)7:00pm 7/22(土)2:00pm

死という名の騎士 (104分・35mm・カラー)

Всадник по имени смерть

20世紀初頭、動揺するロシア帝国を舞台に、政府高官の暗殺を狙うテロリストの心の闇を描く。実在したテロリストの自伝的小説『蒼ざめた馬』が原作になっている。ペレストロイカ期から話題作を送り出してきたシャフナザーロフ監督の最新作。監督は現在モスフィルム所長。

2004 監督 カレン・シャフナザーロフ 脚本 ヴ・ロバシン (ボリス・サヴコフ) 出演 アレクサンドル・ボロジャンスキー、ウラジーミル・クリモフ、リュドミラ・クサコワ、アナトリー・クロール、アンドレイ・パニン、クセニヤ・ラポポルト、アルチョム・セマーキン、ロスチスラフ・ベルシャウエル、アナスタシア・マケヤフ、ドミトリー・ジュージェフ、ワレリー・ストロジク、ワシーリー・ノトフ

◆ ロシア・ソビエト映画名作選

3 7/5(水)3:00pm 7/23(日)3:00pm

ステンカ・ラージン

(12分・18fps・35mm・無声・白黒)

Стенька Разин

ロシア民謡「ステンカ・ラージン」の物語を、歌詞に基づいて映画化したロシア初の劇映画で、ロシア映画の発展の基礎となった。ロケーション撮影が捉えるヴォルガ河や森などの大自然の中で物語が展開される。

'08 監督 ウラジーミル・ロマンシロフ 脚本 ワシーリー・ゴンチャロフ 出演 アレクサンドル・ドラコフ、ニコライ・コスロフスキー、エヴゲニー・ペトローフ、クラエフスキー

セヴァストポリの防衛

(52分・18fps・35mm・無声・白黒)

Оборона Севастополя

帝政時代のロシアを代表するハンジコンコフ社の製作によるロシア初の長篇映画。19世紀半ばのクリミア戦争で、ロシア軍がトルコ・イギリス・フランスの連合軍と戦った有名な戦いを題材とした歴史スペクタクル映画。

'11 監督 ワシーリー・ゴンチャロフ、アレクサンドル・ハンジコンコフ 脚本 トルストイ、ルイ・フォルステ、アレクサンドル・リッロ、ヴォスター、アンドレイ・グロモフ、イワン・モジューヒン、V・アレクツワリ、パーヴェル・ピリコフ、A・ゴリン、ゴリヤノフ、アレクサンドラ・グロモフ、ウラジーミル・マクシモフ、オリガ・ペトローワ、ズワンツェフ、N・セモノフ

4 7/6(木)3:00pm 7/18(火)7:00pm

ストライキ (95分・18fps・35mm・無声・白黒)

Стачка

ロシア帝国が衰退を見せる1900年代初期における、ストライキを起こす労働者たちと、工場幹部や警察側との争いがダイナミックに展開される。『戦艦ポチョムキン』のエイゼンシュテインによる、野心的なモニタージュエリアムも見られる監督デビュー作。

'25 監督 セルゲイ・エイゼンシュテイン 脚本 フレリー・プレトニョフ、グリゴリー・アレクサンドロフ、イリヤ・クラフチュノフスキー、エドゥアルド・ティッセル、ワシーリー・フートフ、ワシーリー・ラハリス、アレクサンドル・アントノフ、ミハイル・ゴモロフ、イワン・クリュークヴィン、グリゴリー・アレクサンドロフ

5 7/6(木)7:00pm 7/19(水)3:00pm

母 (85分・20fps・35mm・無声・白黒)

Мать

労働運動に参加する息子の投獄に手を貸してしまう母親。だが、母はその後息子の苦しむ姿を目にし、自らも運動に身を投じる。演劇的な演技を極めて重視したブドフキンは、本作品でも芸術座のベテラン俳優を起用した。

'26 監督 フェヴォド・ブドフキン 脚本 マクシム・ゴリキー 脚本 ナターシャ・ザルヒ 脚本 アナトリー・ゴロヴニヤ 脚本 セルゲイ・コスロフスキー 脚本 ヴェーラ・バラノフスカヤ、ニコライ・バターロフ、アレクサンドル・チスチャコフ、アンナ・ゼムツォワ

6 7/7(金)3:00pm 7/22(土)11:00am

ベッドとソファ

(71分・24fps・35mm・無声・白黒)

Третья Мецанская

若い夫婦のアパートに地方から出てきた夫の戦友が転がり込み、三角関係になった挙げ句に共同生活が破綻する。自立心を育む女性と旧態依然の男たちの対比の中に、当時のモスクワの市民生活がいきいきと描き出される。原題は「第3町人通り」。

'27 監督 アブラム・ローム 脚本 ヴィクトル・シクロフスキー 脚本 グリゴリー・ギーベル 脚本 ワシーリー・ラハリス、セルゲイ・ユトケヴィチ 脚本 ニコライ・バターロフ、リュドミラ・セモノワ、ウラジーミル・フォーグラー、レオニード・ユレーネフ、エレナ・ソコロフ、マリヤ・ヤロツカヤ



戦争と平和

7 7/7(金)7:00pm 7/30(日)11:00am

トルブナヤ通りの家

(98分・16fps・35mm・無声・白黒)

Дом на Трубной

田舎から出てきた少女が、労働組合への参加を雇い主に知られて解雇される。だがその後少女と同名の女性がモスクワ市議会議員に当選した途端、雇い主のアパートの住人たちは態度を一変させるというコメディ。雇い主を演じた女優ウラジーミル・フォーグラーは最後の映画出演である。

'28 監督 ボリス・バルネット 脚本 ペーラ・ノリチ、アナトリー・マリエンゴフ、ウジム・シェルシェネヴィチ、ヴィクトル・シクロフスキー、ニコライ・エルドマン 脚本 エヴゲニー・アレクセイエフ 脚本 ヴェーラ・マレツカヤ、ウラジーミル・フォーグラー、エレナ・チャプキナ、セルゲイ・コマロフ、アーネスト・スタケウヴィチ、アダ・ヴォイツィク、ウラジーミル・バターロフ

8 7/8(土)11:00am 7/19(水)7:00pm

人生案内 (101分・35mm・白黒)

Путевка в жизнь

戦争や革命で親を失った孤児たちの自立を願い、作業場づくりに取り組む青年が主人公。子どもの自立の補助や社会的障害をテーマにしたソ連初の長篇のトッキー映画で、プロバガンダの要素も見受けられる。

'31 監督 ニコライ・エック 脚本 アレクサンドル・ストルベル、レギナ・ヤヌシケウヴィチ、ヤコフ・ストリャル 脚本 ワシーリー・ブローニン、イワン・ステパノフ、A・エヴメネコフ 脚本 ヤコフ・ストリャル 脚本 ニコライ・バターロフ、イワン・クワラ、ミハイル・ジャコフ、ワシーリー・カチャーロフ、ミハイル・ジャコフ、アレクサンドル・ノヴィコフ、マリヤ・アントロポワ

9 7/8(土)2:00pm 7/20(木)7:00pm

レーニンのキノブラウダ

[キノブラウダ 第21号]

(23分・24fps・35mm・無声・白黒)

Ленинская Киноправда (Киноправда №21)

カメラという“機械の眼”で世界を捉えることの意義を主張し、多彩なカメラワークと編集操作を追究したヴェルトフの、時事的記録映画シリーズ(全25号)の中の第21号。レーニンの死去に際して作られた。

'24 監督 ジガ・ヴェルトフ 脚本 ミハイル・カウフマン、エドゥアルド・ティッセル、グリゴリー・ギーベル、アレクサンドル・レンベルグ、ピョートル・ノヴィツキー

レーニンの三つの歌 (59分・35mm・白黒)

Три песни Ленина

レーニン没後10年記念の際、中央アジアやウクライナ東部の工業地域などを長期取材し、『レーニンのキノブラウダ』の素材も利用して作られた一本。3つのレーニンの讃歌とともに理想化されたソ連の映像が鮮明に映し出される。

'34 監督 ジガ・ヴェルトフ 脚本 ドミトリー・スレンスキー、マルク・マギドソン、ベンツィオン(ボリス)・モナスティルスキー 脚本 ユーリー・シャボリン

10 7/8(土)5:00pm 7/18(火)3:00pm

未来への迷宮 (102分・35mm・白黒)

Строгий юноша

原題は「厳格な青年」。人気作家ユーリー・オレーシャがシナリオを書き下ろしたもので、ローム監督は超現実的な手法を用いて外科医夫人と若者の不倫を描写した。同時に、社会主義における“平等”の難しさを照らし出し、長らく公開禁止とされた。

'35 監督 アブラム・ローム 脚本 ユーリー・オレーシャ 脚本 ユーリー・エクリチク 脚本 ウラジーミル・カプルノフスキー、モリツ・ウマンスキー 脚本 ガヴリール・ポポフ 脚本 ユーリー・ユリエフ、オリガ・ジズネフ、ドミトリー・ドルリアク、マクシム・シュトラウフ、ワレンチナ・セロワ、イリーナ・ヴォロトコ

11 7/9(日)11:00am 7/20(木)3:00pm

十月のレーニン (101分・35mm・白黒)

Ленин в Октябре

翌年の『1918年のレーニン』と合わせて2部作をなす革命20周年記念作品。1917年のロシア革命の経緯を、臨時政府に対する大衆の抗議やレーニンの活動を名匠ミハイル・ロームがダイナミックに再現したもので、レーニンがユーモラスに描かれていることも特徴的。

'37 監督 ミハイル・ローム、ドミトリー・ワシーリエフ 脚本 アレクセイ・カブレル 脚本 ボリス・ヴォルコフ 脚本 ボリス・ドゥッロフスキー、エシユク、ニコライ・ソロヴィヨフ 脚本 アナトリー・アレクサンドロフ 脚本 ボリス・シチュキン、ニコライ・オフロブコフ、K・コロポワ、ワシーリー・ウーニン、ウラジーミル・ボコフスキー、A・コワレフスキー、ニコライ・スヴォボジン、セモーン・ゴルトシュタフ、ニコライ・ソコロフ

12 7/9(日)2:00pm 7/21(金)3:00pm

ヴォルガ・ヴォルガ(106分・35mm・白黒)
Волга-Волга

スターリン時代にあつて、『陽気な連中』(1934年)や『サーカス』(1936年)といったミュージカル・コメディに力を発揮したアレクサンドロフの作品。ヴォルガ河を遡ってモスクワに向かう船の上で、社会諷刺を絡めつつ陽気な歌と踊りが繰り広げられる。

'38◎◎グリゴリー・アレクサンドロフ◎ミハイル・ヴォロビン、ニコライ・エルドマン◎ウラジーミル・ニールセン、ボリス・ペトローフ◎ゲオルギー・グリフツォフ、M・カリーキン◎イサーク・ドゥナエフスキー◎イーゴリ・イリンスキー、リュボフ・フィオルロワ、パーヴェル・オレーネフ、アンドレイ・トティシュキン、セルゲイ・アンチモフ、ウラジーミル・ヴォロジン、マリヤ・ミローワ

13 7/9(日)5:00pm 7/25(火)3:00pm

私の鶯(99分・35mm・白黒)

満洲映画協会と日本の東宝が組んで製作した、ハリピンを舞台に繰り広げられる歌謡映画で、台詞のかなりの部分がロシア語である。李香蘭の演じる日本人少女が、育ての親である亡命ロシア人から学んだロシア語の歌を熱唱するが、映画は当時の日本では公開されなかった。

'43◎◎島津保次郎◎大仏次郎◎福島宏◎服部良一◎李香蘭(山口淑子)、黒井洵(二本柳寛)、千葉早智子、松本光男、進藤英太郎、グリゴリー・サヤピン、ワシーリー・トムスキー、ニーナ・エンゲルガルド、オリガ・マシュコフ

14 7/11(火)3:00pm 7/30(日)2:00pm

イワン雷帝 第1部(99分・35mm・白黒)

Иван Грозный (1-я серия)

初代皇帝としてロシア帝国の強大化に尽力したイワン4世(雷帝)を描いたエイゼンシュテイン最後の作品。第1部では、封建制の支配するロシアを中央集権国家にまとめ上げる過程が綴られるが、戦いを逃れて疎閑先のアルマ・アタ(現カザフスタン)で撮影された。

'44◎◎セルゲイ・エイゼンシュテイン◎エドゥアルド・ティッセ、アンドレイ・モスクヴィン◎ヨシフ・シュビネリ◎セルゲイ・プロコフィエフ◎ニコライ・チェルカソフ、リュドミラ・ツェルコフスカヤ、セラフィマ・ピルマン、パーヴェル・カードチニコフ、ミハイル・ジャロフ、アンヴロシー・ブーチマ、ミハイル・クズネツォフ、ミハイル・ナズワノフ、アンドレイ・アブリコソフ、マクシム・ミハイロフ、フセヴォロド・ブドフキン、アレクサンドル・ムゲブロフ

15 7/11(火)7:00pm 7/30(日)5:00pm

イワン雷帝 第2部

(85分・35mm・パートカラー)

Иван Грозный (2-я серия)

モスクワで完成された第2部では、権謀術数の渦巻く雷帝と貴族たちとの暗闘が描かれる。だが独裁者の孤独を描く暗い作品だとスターリンの死後まで公開されず、一部撮影された第3部の素材も破棄させられた。最後のカラー部分は、エイゼンシュテイン唯一の色彩映像である。

'45◎◎セルゲイ・エイゼンシュテイン◎エドゥアルド・ティッセ、アンドレイ・モスクヴィン◎ヨシフ・シュビネリ◎セルゲイ・プロコフィエフ◎ニコライ・チェルカソフ、リュドミラ・ツェルコフスカヤ、セラフィマ・ピルマン、パーヴェル・カードチニコフ、ミハイル・ジャロフ、アンヴロシー・ブーチマ、ミハイル・クズネツォフ、ミハイル・ナズワノフ、アンドレイ・アブリコソフ、アレクサンドル・ムゲブロフ、マクシム・ミハイロフ、フセヴォロド・ブドフキン、パーヴェル・マッサリスキー、エリク・ピリエフ

16 7/12(水)3:00pm 7/21(金)7:00pm

諜報員(92分・35mm・白黒)

Подвиг разведчика

第2次世界大戦中、敵国ドイツの司令部に潜入したソ連軍の少佐が、いくつもの危険を巧みにすり抜けてスパイの使命を果たす。フリッツ・ラング作品を想起させるサスペンスたっぷりの活劇で、ソ連娯楽映画の王ボリス・バルネツが演出力を存分に発揮した。

'47◎◎ボリス・バルネット◎ミハイル・ブレイマン、コンスタンチン・イサーエフ、ミハイル・マクハルスキー◎ダニール・デムツキー◎モーリッツ・ウマンスキー◎ドミトリー・クレバノフ、オスカル・サンドレル◎パーヴェル・カードチニコフ、ヴィクトル・ドヴゴヴォリスキー、ミハイル・ロマノフ、ドミトリー・ミリュテンコ、ビョートル・アルジャノフ

17 7/12(水)7:00pm 7/23(日)5:00pm

鶴は翔んでゆく(96分・35mm・白黒)

Летят журавли

一通の召集令状が幸せなカップルを引き裂き、恋人の戦死を知らない女は彼の帰りを待ち続ける。流麗でみずみずしいカメラワークを実現した撮影監督ウルセフスキーは、その後も『怒りのキューバ』(1964年)などの傑作でカトローゾフとコンビを組んだ。旧日本公開題は『戦争と貞操』。

'57◎◎ミハイル・カトローゾフ◎ヴィクトル・ローゾフ◎セルゲイ・ウルセフスキー◎エヴゲーニー・スヴィデーテルフ◎モイセイ・ワインベルグ◎タチヤナ・サモイロフ、アレクセイ・パターロフ、ワシーリー・メルクーリエフ、スヴェトラナ・ハルトーノワ、コンスタンチン・ニキーチン、ワレンチン・ズブコフ、アントニーナ・ボグダノワ、ボリス・ココフキン

18 7/13(木)7:00pm 7/26(水)3:00pm

誓いの休暇(87分・35mm・白黒)

Баллада о солдате

第2次大戦で功績を挙げ、その褒美として6日間の特別休暇をもらった19歳の兵士の帰郷を描く。他にも『女狙撃兵マリユートカ』(1956年)などの戦争映画で知られるチュフライが、曇天から一瞬のぞく陽の光のようにはかない若者の安らぎに、戦争のむなしさを訴えた。

'59◎◎グリゴリー・チュフライ◎ワレンチン・エジポフ◎ウラジーミル・ニコラエフ、エラ・サヴェリエワ◎ボリス・ネメチェク◎ミハイル・ジープ◎ウラジーミル・イヴォシフ、ジャンナ・プロホレンコ、アントニーナ・マクシーモワ、ニコライ・クリュチコフ、エヴゲーニー・ウルバンスキー

19 7/13(木)3:00pm 7/23(日)11:00am

私は20歳(198分・35mm・白黒)

Мне двадцать лет (Застава Ильича)

*途中で休憩時間を設けます

生きることの意義に思い悩む青年の内面が、女性カメラマンのピリーヒナが捉えるモスクワの四季の変化とともに描き出されるみずみずしい青春映画。「雪解け」時代のソ連文化の輝きを伝える貴重なモニュメントで、アンドレイ・タルコフスキー監督も友情出演したが、当初は公開を許可されず、1988年に初めて完全版が公開された。

'62◎◎マルレン・フツィエフ◎ゲンナージー・シウパリコフ◎マルガリタ・ピリーヒナ◎イリーナ・ザハロワ◎ニコライ・シデロフ◎ワレンチン・ポポフ、ニコライ・グベニコ、スタニスラフ・リュブシン、マリアナ・ヴェルチンスカヤ、スヴェトラナ・スタリコワ

20 7/14(金)1:00pm 7/29(土)11:00am

戦争と平和(425分・35mm・カラー)

Война и мир

*途中で3回の休憩時間を設けます。途中の部分からの入場はできません。

文豪トルストイを原作に仰ぎ、ナポレオン軍が君臨した19世紀初頭のヨーロッパを舞台に繰り広げられる雄大な歴史絵巻。ソ連の国家事業ともいえる巨大規模で製作され、伯爵の娘ナターシャをめぐる男たちの愛情を軸に、絢爛たる舞踏会のシーン、史上最大規模のエキストラを動員した戦闘シーンなど圧倒的なスケールを誇る。全4部を一挙上映。

'65-67◎◎セルゲイ・ボンダルチュク◎レフ・トルストイ◎ワシーリー・ソヴォヨフ◎アナトーリー・ベトリツキー◎ミハイル・ボグダノフ、ゲンナージー・マシニコフ、アレクサンドル・ボリソフ、ニコライ・トルカチョフ◎ヴァチェスラフ・オフチニコフ◎リュドミラ・サヴェリエワ、ヴァチェスラフ・チーホノフ、ヴィクトル・スタニーツィン、キーラ・イワノワ◎ゴロフコ、オレグ・タバコフ

21 7/15(土)2:00pm 7/27(木)3:00pm

デルス・ウザーラ(143分・35mm・カラー)

Дерсу Узала

探検家アルセーニエフとその仕事を助けた猟師デルスの友情を、極東ウズリー地方の大針葉樹林を背景に描いた大作で、風などの自然の表現も素晴らしい。モスフィルムに招かれた黒澤明が、苛酷な長期ロケーションの果てに、若き日からの映画化の夢をついに実現した一本。

'75◎◎黒澤明◎ウラジーミル・アルセーニエフ◎ユーリー・ナギーエフ◎中井朝一、ユーリー・ガントマン、フォード・プロスラヴォフ◎ユーリー・ラクシャ◎イサーク・シュワルツ◎ユーリー・ソロミン、マクシム・ムズク、スヴェトラナ・ダコリチュコフ、ジマー・コルシコフ、スィメンクル・チョクモロフ、ウラジーミル・クレメナ

22 7/15(土)11:00am 7/26(水)7:00pm

五つの夜に(102分・35mm・白黒)

Пять вечеров

戦争に引き裂かれ、17年を離れて暮らした中年の男女が再会する。愛情を取り戻すまでに2人が出会う5夜の描写を通して、戦争の傷と2人の心理が浮き彫りになる。別作品の撮影中断を利用して1か月ほどで撮影したものの、ほのかな情が漂う佳品となった。

'79◎◎ニキータ・ミハルコフ◎アレクサンドル・ヴォロジン◎アレクサンドル・アダバシヤン◎パーヴェル・レーベシエフ◎アレクサンドル・サムレキン◎リュドミラ・グルチェンコ、スタニスラフ・リュブシン、ワレンチナ・テリーチキナ、ラリーサ・クズネツォワ、イーゴリ・ネフォードフ

23 7/16(日)2:00pm 7/25(火)7:00pm

モスクワは涙を信じない

(149分・35mm・カラー)

Москва слезам не верит

1950年代末、自由な時代をともに過ごし、その後それぞれ異なる人生を歩む3人の女性。世の荒波を乗り越えた20年後の女たちの三者三様の人生を描くメロドラマで、ソ連社会の時代の変遷を背景に、物語がリズムカルに展開される。

'80◎◎ウラジーミル・メニシヨフ◎ワレンチン・チェルヌイフ◎イーゴリ・スラヴネーヴィチ◎サイード・メニシチコフ◎セルゲイ・ニキーチン◎ヴェーラ・アレントワ、アレクセイ・パターロフ、イリーナ・ムラヴィヨワ、ライサ・リャザノワ、ナターリヤ・ワヴィロワ

24 7/16(日)11:00am 7/27(木)7:00pm

不思議惑星キン・ザ・ザ

(134分・35mm・カラー)Кин-дза-дза

モスクワの寒空の下で裸足の男に話しかけた2人の男が、世にも奇妙な砂の惑星へと放り出される。間抜けながらも狡猾な宇宙人と人間たちの掛け合いが楽しい、コミカルな雰囲気と満ちたSF作品。「クー」という挨拶などが人気を呼び、日本でもファンが多い。

'83◎◎ゲオルギー・ダネリア◎レウス・ガブリアゼ◎パーヴェル・レーベシエフ◎アレクサンドル・サムレキン、テオドル・テジク◎ギア・カンチエリ◎スタニスラフ・リュブシン、エヴゲーニー・レオノフ、ユーリー・ヤコブレフ、レワン・ガブリアゼ

25 7/15(土)5:30pm 7/28(日)7:00pm

ストーン クリミアの亡霊

(88分・35mm・白黒)Камень

黒海沿岸にある、博物館となったチェーホフの家で宿直する青年が、夜ごと訪れるチェーホフの亡霊と親交を深めてゆく。『エルミタージュ幻想』(2002年)や今夏日本公開予定の『太陽』などで世界の注目を集めるソーロフの作品で、幻想的な切なさを感じ出ている。

'92◎◎アレクサンドル・ソーロフ◎ユーリー・アラーポフ◎アレクサンドル・ブーロフ◎ウラジーミル・ソヴォヨフ◎ウラジーミル・ソヴォヨフ◎レオニード・モズゴヴォイ、ビョートル・アレクサンドロフ、ワジム・セモノフ

26 7/16(日)5:30pm 7/28(金)3:00pm

コーカサスの虜(95分・35mm・カラー)

Кавказский пленник

チェチェンの老人に捕まった2人のロシア兵が、捕虜生活の中で美しい娘と知り合うが、やがて悲劇の結末を迎える。トルストイの短篇を現代に置き換え、チェチェンとロシアの間に横たわる問題をえぐった。兵士ワーニャに扮した監督の子息は、新世代のスターと目されながらも2002年に事故死。

'96◎◎セルゲイ・ボドロフ◎レフ・トルストイ◎アリフ・アリエフ、ボリス・キレル◎パーヴェル・レーベシエフ◎ワレリー・コストリン◎レオニード・デシャートニコフ◎オレグ・メンシコフ、セルゲイ・ボドロフJr.、スナナ・メフリアエフ、ジェマル・シハルリゼ



モスクワは涙を信じない

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|----|--|---|--|---|--|--|
| | | | | | | 8 人生案内 11:00am (101分) |
| 3 | 4 | 3 ステンカ・ラーズン (12分) セヴァストポリの防衛 (52分) 3:00pm | 4 ストライキ 3:00pm (95分) | 6 ベッドとソファ 3:00pm (71分) | 7 | 9 レーニンのキノブラウダ (23分) レーニンの三つの歌 (59分) 2:00pm |
| | 2 死という名の騎士 (104分) *シャフナザーロフ監督の舞台挨拶があります 7:00pm | 1 宇宙を夢見て (87分) *ウチーチェリ監督の舞台挨拶があります 7:00pm | 5 母 7:00pm (85分) | 7 トルブナヤ通りの家 (98分) 7:00pm | 10 未来への迷宮 (102分) 5:00pm | 11 十月のレーニン (101分) 11:00am |
| | | | | | 22 五つの夜に 11:00am (102分) | 24 不思議惑星キン・ザ・ザ (134分) 11:00am |
| 10 | 14 イワン雷帝 第一部 (99分) 3:00pm | 16 諜報員 3:00pm (92分) | 19 私は20歳 (198分) *途中で休憩時間を設けます 3:00pm | 20 戦争と平和 (425分) *途中で3回の休憩時間を設けます 1:00pm | 21 デルス・ウザーラ (143分) 2:00pm | 23 モスクワは涙を信じない (149分) 2:00pm |
| 7月 | 15 イワン雷帝 第二部 (85分) 7:00pm | 17 鶴は翔んでゆく (96分) 7:00pm | 18 誓いの休暇 (87分) 7:00pm | 14 | 25 ストーン 5:30pm (88分) | 26 コーカサスの虜 (95分) 5:30pm |
| | | | | | 6 ベッドとソファ 11:00am (71分) | 19 私は20歳 (198分) *途中で休憩時間を設けます 11:00am |
| 17 | 10 未来への迷宮 (102分) 3:00pm | 5 母 3:00pm (85分) | 11 十月のレーニン (101分) 3:00pm | 12 ヴォルガ・ヴォルガ (106分) 3:00pm | 2 死という名の騎士 (104分) 2:00pm | 3 ステンカ・ラーズン (12分) セヴァストポリの防衛 (52分) 3:00pm |
| | 4 ストライキ 7:00pm (95分) | 8 人生案内 7:00pm (101分) | 9 レーニンのキノブラウダ (23分) レーニンの三つの歌 (59分) 7:00pm | 16 諜報員 7:00pm (92分) | 1 宇宙を夢見て (87分) 5:00pm | 17 鶴は翔んでゆく (96分) 5:00pm |
| 24 | 13 私の鷲 (99分) 3:00pm | 18 誓いの休暇 (87分) 3:00pm | 21 デルス・ウザーラ (143分) 3:00pm | 26 コーカサスの虜 (95分) 3:00pm | 20 戦争と平和 (425分) *途中で3回の休憩時間を設けます 11:00am | 7 トルブナヤ通りの家 (98分) 11:00am |
| | 23 モスクワは涙を信じない (149分) 7:00pm | 22 五つの夜に (102分) 7:00pm | 24 不思議惑星キン・ザ・ザ (134分) 7:00pm | 25 ストーン (88分) 7:00pm | | 14 イワン雷帝 第一部 (99分) 2:00pm |
| | | | | | | 15 イワン雷帝 第二部 (85分) 5:00pm |

■作品により開映時間が異なりますのでご注意ください。

展示室(7階)

【企画展】

生誕100周年記念
美術監督 水谷浩の仕事

Pioneering Art Director:
Hiroshi Mizutani at his Centenary

映画美術の草分けとして小津安二郎や豊田四郎、村田実の作品を担当し、後には溝口健二の国際的名声を支えた「美術監督」水谷浩(1906-71年)。そのデッサンや遺品、小道具を通して偉大なパイオニアの足跡と、映画における美術の仕事を概観します。

【常設展】

展覧会 映画遺産

—東京国立近代美術館フィルムセンター・コレクションより—

The Japanese Film Heritage

—From the Non-Film Collection of the National Film Center—
フィルムセンターが開設から50年の間に収集してきたコレクションの中から特に珍しい初期の映画機械や映画人の遺品などを一堂に集めて展示する一方、過去に行われた映画の発見・復元の成果を紹介しながら、日本の映画保存運動の軌跡を振り返ります。

図書室カレンダー

赤字は休室日

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | | | 1 |
| 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
| 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |
| 30 | 31 | | | | | |

図書室(4階) 開室=休館日以外の火曜日-土曜日
(午後0時30分-午後6時30分/入室は午後6時まで)

2階受付では、「NFCニューズレター」(隔月刊)を販売しています。これは、フィルムセンターのさまざまな催し物や事業の情報、上映番組の解説、予告等はもちろんのこと、世界のフィルム・アーカイヴやシネマテークの紹介、映画史研究の先端的成果の発表などを掲載する機関誌です。どうぞご利用下さい。



東京国立近代美術館フィルムセンターは、国際フィルム・アーカイヴ連盟(FIAF)の正会員です。FIAFは文化遺産として、また、歴史資料としての映画フィルムを、破壊・散逸から救済し保存しようとする世界の諸機関を結びつけている国際団体です。

4月4日(水)-5月28日(日)、6月6日(水)-9月24日(日)

開室=休館日以外の火曜日-日曜日

(午前11時-午後6時30分/入場は午後6時まで)

料金(企画展・常設展共通)=一般200円(100円)/

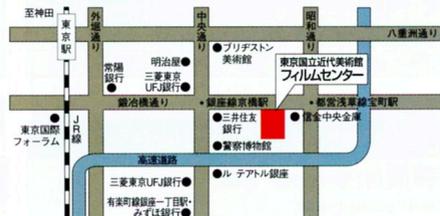
大学生・シニア70円(40円)/高校生40円(20円)

* ()内は20名以上の団体料金です。

* 小・中学生は無料です。

* 大ホールで映画をご覧になった方は、当日に限り、半券のご提示により団体料金が適用されます。

* シニア(65歳以上)の方は、必ず年齢を証明できるものをご提示下さい。



フィルムセンター 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

▼交通:

東京外環線京橋駅下車。出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
都営地下鉄浅草線宝町駅下車。出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
東京外環線有楽町線銀座一丁目駅下車。出口7より徒歩5分
JR東京駅下車。八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ: ハローダイヤル03-5777-8600

NFCホームページ:

<http://www.momat.go.jp/>

NFC携帯電話ホームページ:

<http://www.momat.go.jp/nfc/k/>

